

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 手根管症候群のCMAP潜時延長によるSNAP出現率への影響

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年1月～2017年12月

#### 2. 研究目的・方法

手根管症候群(CTS)の電気生理学的診断基準は、刺激・導出距離が7～8cmにおいてCMAP潜時 $\geq 4.0 \sim 4.5$ msとされている。さらに潜時が延長することで感覚神経活動電位(SNAP)が消失し、記録できないことを経験する。執拗な刺激や検査時間の延長にならないよう当検査室内での目安を設定するためCTS患者においてCMAP潜時の延長を認める患者のSNAP出現率や振幅について検討を行った。本研究は学術研究であり、当検査室で検査した患者のデータを利用する。患者データは検査室内の部門システムにて「9.診療録等の調査項目」に記載した情報を取得する。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有する。

#### 研究期間

医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2018年10月まで。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、病歴

試料：末梢神経伝導検査データ

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：大学病院 生理検査室 研究責任者：老川 美緒

住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8480